

Restricted Book

Forbidden Books

Promise of Wizard



@spellonthemoon

歌よみの賢者さまへ  
#月への呪文短歌 って付けて tweetしたら  
こっちの世界に言葉が届くかも！

名前も知らないきみへ、はじめまして。

この手紙をきみが問題なく読めているのなら、他の魔法は成功したということだ。

今きみが手にしているのは中央の国の魔法舎に保存されていた、古い書物の写しだ。

きみにとっては過去のもの、それとも未来のものになるのだろうか。

一部の賢者の書と同じ言語が使われているようにだが、魔法で記憶を辿ってみたところ、賢者の書ではないらしい。どうやらきみの世界にあった言葉たちが、厄災の影響でこちらの世界へ飛ばされてきたようだ。

きみ達の世界の言葉について、残念ながら俺はまだ読み解くことができないが、

類似の形式を繰り返し使っているようだから、言葉遊びの類ではないかと推測している。当たっていたら嬉しい。

きみ達の世界で生まれた言葉だ、きみ達の世界へ帰そう。

だけど他の言葉はきみの言葉に、きみの言葉は他の言葉に。

この書物がきみの世界へ還る瞬間、ここに書かれている言葉が俺にも読み取れるようになるはずだ。

だけでもいつかきみがこちらへ来ることがあったら、その時はここに書いてある文字の意味を、きみ自身の言葉で教えてほしい。それは俺にはできない、きみにしか作れない言葉だから。

いつか賢者だったかもしれない、あるいは、いつか賢者になるかもしれないきみへ

満月の夜に

Murr.H



# 月への呪文

まほやく呪文短歌集

Tanka-Spells

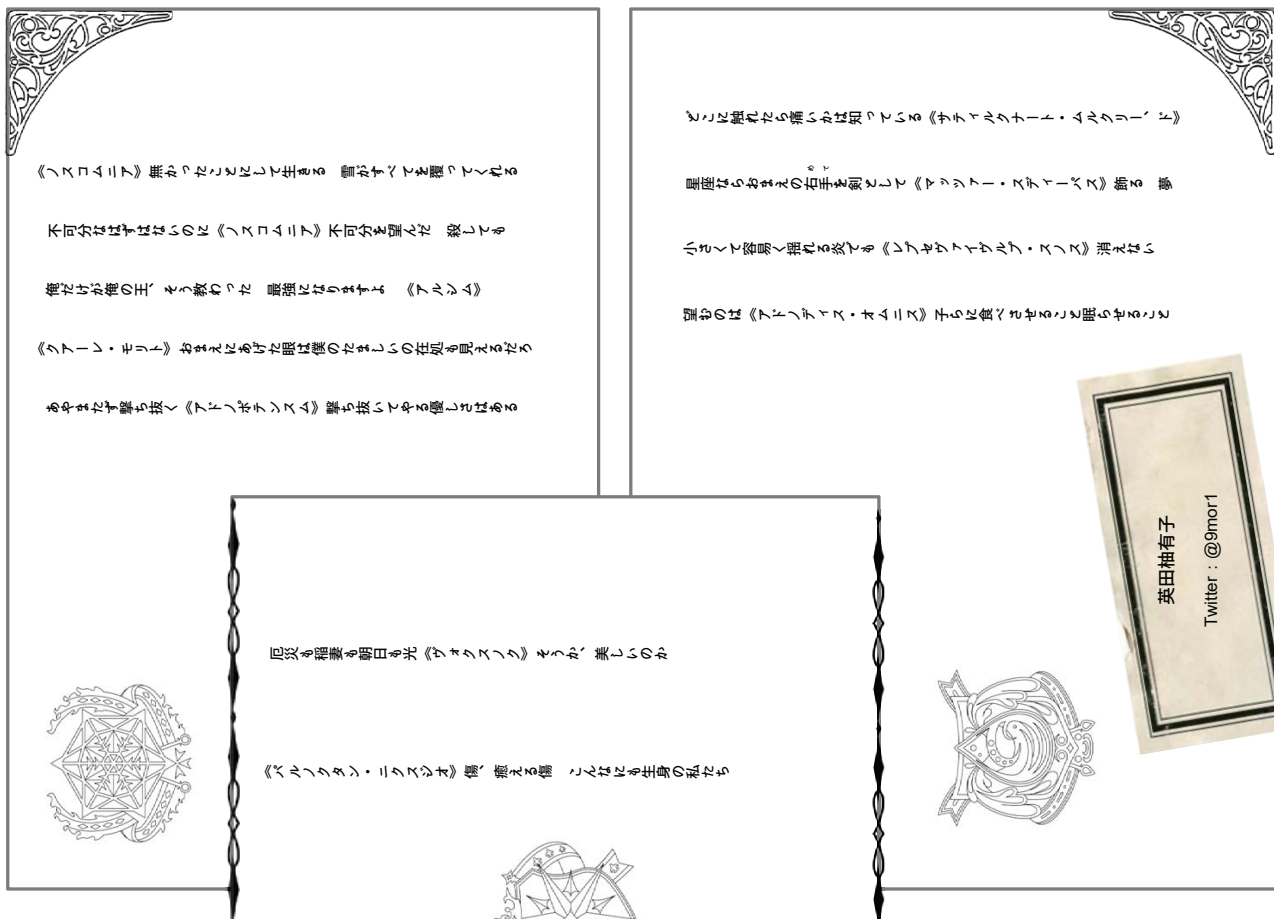
From "Promise of Wizard"

英田 柚有子  
青野  
あんの屋  
雨季  
おつき  
カスレ  
くじ  
こんろ  
権葉  
瀬良  
谷  
塚紗りむ  
びょ x  
ミクニへレノ  
満  
雪解雨  
よも  
穂崎 円

月への呪文

発行 2022.6.14

企画・編集：穂崎 円 (@golden\_wheat)



《スロムニ》無<sup>い</sup>だ<sup>う</sup>に<sup>て</sup>生<sup>き</sup>る 雪<sup>が</sup>て<sup>て</sup>も<sup>も</sup>隠<sup>っ</sup>て<sup>く</sup>れ<sup>る</sup>

不<sup>可</sup>分<sup>な</sup>は<sup>ず</sup>は<sup>な</sup>い<sup>に</sup>《スロムニ》不<sup>可</sup>分<sup>な</sup>を<sup>重</sup>ぐ<sup>だ</sup> 殺<sup>し</sup>て<sup>も</sup>

俺<sup>だ</sup>け<sup>が</sup>俺<sup>の</sup>主<sup>を</sup> そ<sup>う</sup>救<sup>わ</sup>つ<sup>た</sup> 最<sup>強</sup>に<sup>な</sup>り<sup>ま</sup>す<sup>よ</sup> 《アルム》

《アーレ・モリ》お<sup>ま</sup>ま<sup>は</sup>あ<sup>げ</sup>た<sup>眼</sup>は<sup>僕</sup>の<sup>な</sup>ま<sup>し</sup>い<sup>の</sup>花<sup>姫</sup>も<sup>思</sup>え<sup>る</sup>だ<sup>らう</sup>

あ<sup>や</sup>ま<sup>ず</sup>撃<sup>ち</sup>抜<sup>く</sup>《アドノガンスム》撃<sup>ち</sup>抜<sup>い</sup>て<sup>も</sup>優<sup>し</sup>は<sup>あ</sup>る

ど<sup>こ</sup>に<sup>触</sup>れ<sup>た</sup>ら<sup>痛</sup>い<sup>は</sup>知<sup>っ</sup>て<sup>い</sup>る 《サティルラナイト・ムカギリ、ド》

黒<sup>屋</sup>なら<sup>お</sup>ま<sup>え</sup>の<sup>右</sup>手<sup>を</sup>愛<sup>お</sup>い<sup>こ</sup>し<sup>て</sup> 《アウシャー・スティーベ》師<sup>を</sup> 夢

小<sup>さ</sup>く<sup>て</sup>空<sup>を</sup>飛<sup>ぶ</sup>に<sup>め</sup>ぐ<sup>る</sup> 《レアサカイア・スー》消<sup>え</sup>な<sup>い</sup>

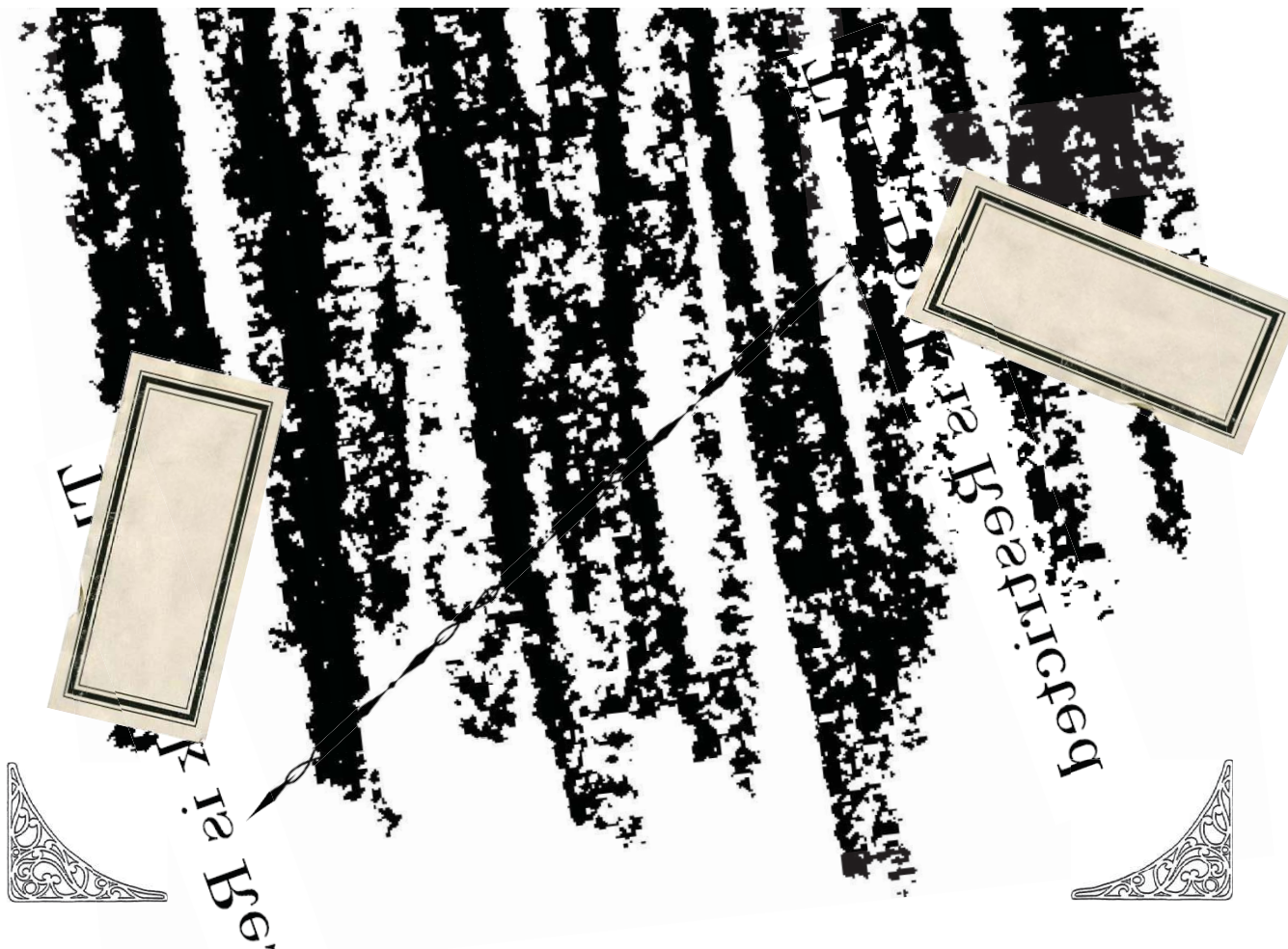
望<sup>む</sup>の<sup>は</sup>《アド・アース・オムニス》子<sup>ら</sup>に<sup>食</sup>べ<sup>た</sup>を<sup>ら</sup>に<sup>も</sup>隠<sup>ら</sup>せ<sup>る</sup>こ<sup>と</sup>

屈<sup>か</sup>つ<sup>た</sup>も<sup>纏</sup>束<sup>も</sup>朝<sup>あ</sup>日<sup>や</sup>光<sup>《ハタスラフ》</sup> そ<sup>う</sup>が<sup>、</sup>美<sup>し</sup>い<sup>の</sup>か

《ベルフタン・ニクス》傷<sup>を</sup> 癒<sup>え</sup>る<sup>傷</sup> こ<sup>ん</sup>な<sup>に</sup>も<sup>生</sup>命<sup>の</sup>秘<sup>ひ</sup>だ<sup>ら</sup>

英田柚有子

Twitter : @9mor1

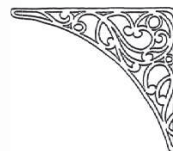
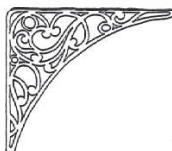


is

is Restricted

is Restricted





This Book is B



手を触れて形がもたられるもの《アムンティア・トロサー》をゆけ

夢からいものは触れたら《アムンティア・エター》醒寢てしようか、うれし



《アムンティア》夢のわたの手を取って。(取れはくると夢はなくていら)

目を浴びた空がやがてくるともあらうと。エター・アムンティア

《アムンティア・アムンティア》生きているとうれしうとうれし

《アムンティア・アムンティア》生きているとうれしうとうれし

《アムンティア》そのなにはく、触り傳へる世界が醒寢 いそぐ

《アムンティア・アムンティア》を。覚醒。そのまはく醒寢たらうと

《アムンティア・アムンティア》今も生きている醒寢所、わたの 傳の

生きていると似る《アムンティア・アムンティア》うと醒寢て

行く先のない舟とたたきという運命が咲くまでを 《アルシム》

クリームも灰も茶もお祈りも《クアーレ・モリー》どこから来るの

引鉄を引くなら《アドノボチヌム》目を逸らすなよ 朝焼けに月

《ノスコムニア》我らのおまじい永遠に雪が降り頼む《ノスコムニア》



受胎を吐き出すのは《ムタクスノウ》子宮のからだをよこして産む

《サクレティア・ヒタイ》炎を握れないでたつた火の心臓でいら



手ま叩く、重なる、触れる、クラティアス・プロヤード、握る、俺の剣を

サクレティア・ヒタイ 米はまっすぐと喉を穿くまでに行けまっすぐ



希釈して差し上げますね《テンカイーベ》 最後まで飲ませますよう

アラン・ニョー・エスニョー・ランアル月が笑うまでは愛うあまは花びらー

新しい一針 一戦が、目を覚ませ スイスジョーボ・ウイタインコー

アモレスト・ウイニョサひらけは胸中に張りつめていた弦の音色

参だった 雨だったのに《アドノデイス・オムニ》開かれずにいる雲

《サイルクナート・ムルクリド》と唱えても声を持たない霧の江は

銀の雨 望みは《レヤウイウルブ・スラス》怖れた似て目が眩む

明鏡を蹴散らす《マツンター・ステイバズ》全部やるなら望んでほしい



青野

Twitter : @le\_def



おあたまの口なすはるを《ホルトニク・ヤアルクベスサエ》 ちらねは光

ノオーヤタオー 火がなすは火を囲む睡眠を覚えることだーメニーク

がうシチオ (雷もいりにも落はるころ) (水面に降らと消えた足音)

いつか選り凍湖に響く《オスートニク・ヤトアオーシニ》 聴きとらって

(アルシ) 扉を開けたその先の光を信じてはいくと言われた

静寂を静かに起こし引き金を——アドノガチンズ、撃ちただけだろ

銃前を下ろしとまたも銃する (クアーレ・モウレ) 声がうるさい

我らこそ主語だもつて 霊魂をゆけばノスコムニエを撃けり



世界からおまえだ、おまえはおまえから——《アタスヘク》夜の緞帳が降る

夜の悉しすかに叩く (ベルフクタン・ニクスシス) まだ聞まごていても



《タラティアス・プロゼーラ》触れられる手はかたは理かへせまどいる手だ

守られていると知れ置が《ベルフクタン・ニクスシス》映すオーロラの言



戦れに指を伸ばせば《ペンクイーメル》クラスの中に足は揺らいで

《アモレスト・クイエマヤ》けれど囁きのような声のちから影は

は喉が火を燃はしただけ火つてそういうものぞ《ヒエニエ・ランブル》！

《マイエビローネ・ウタイティンコーク》胸元には星を置きたのフートニエルを

でも今も (アツツァー・スミューベス) 俺が俺に戻るのはこの森のなか

アドノゲイス・オムニエに降っているいつ止むてもめやわらないまま

風は吹く (サチルクナート・ムルクリート) 誰も買められずに、くりかえし

くぼきぬよう捧げて持てようがねのレアサクタイクダ、スゴスの共振



穂崎円

Twitter : @golden\_wheat



本当のどこか知りたけ《ホルトニク・ヤアルンズとラヂエ》疾風よ、来て

《ホルトニク・ヤトクスターシエ》風をともだに翔ければ雲の紫団に会ふ

《フオーヤタオ・ヌエートン》水の風を待つところの淵に糸を垂らして

吹いたってそれっもんだな《ギョウシス》風は水面を撫てどばかりて

《アーレン・メネニ》互いが嫌いなオクダ・エゴ《クアーレン・モリー》で鏡が割れた

《アルシム》それは予期せぬ運命敵どもを夜を花園へ続く

打ち壊した弾子の天井も稲妻も《ヘンリヤチونسム》この手で全て

大へなってしまうた

《ノスコムニト》は故郷の街を冒険す 言だ



無意識に伏せた壁毛の《チンレタイア・エティン》は語り 微笑みもまた

《オウクスウク》空を切れた口でノドは権児がせめく 運命はなりけり



誰だいの言《クラティアス・トロヤード》不同相の剣は陣は陣<sup>のほら</sup>

照らすのは天からの光ばかりとははくちうなのぞ《チンレタイア・エティン》



《インカイベ》琥珀の隙に溶かされて進む水のめりは憂し

かつむき足りないノートを言なら聞けずにはなていられないー《エアニー・ラング》ー

いは結ぶもならなれつたりだんたら《スイズン・ボ・ウキイティンコー》

醒めぬまど夢。《エクレント・カイエウヤ》拍は渾み落は睡こそますから

壊いてない 《夕暮れと雨の意》のことでも赤面する 壊れきらないよ

自剖の詩 それと顔は照らすのだ《サチイルクナート・メルクリット》と

鏡が鎖か《マッソアー・ズタイーバス》魔法使いてあり続けること

あいつに もうついでとはいえないし最期は続く《…ナイス・オスニエ》



あんの屋

Twitter : @annoyamake



乾いても生もられる腕 でも水を掬っていただくて《ネッパチス》、まだ、

《オルトニク・ヤトアオーシエ》空を捲く舞は連れ、のらめちやあること

《フキヤタオ・メエーカク》たええはコーローに用ひ舞ひつて渡るして飲む日

元を喰ひ《オルトニク・ヤアルシエルサエ》あはだは拍、櫛を拵てこいつこと



《ハスコムニア》 (我らの) (我の) 真二つの輪郭をなぞる愛の言霊

《アルシム》と音律のない歌をうたえ 太陽を喰らう獣の歌を

あたらしい景色をあげる《クーレ・メニ》眼を（傷口を）開いてみせて

ひく息にふれる額を撫でてやる 目蓋を閉じる 《クアーレ・モリト》

《アドノポテンスム》 継ぎ接ぎの火薬よ爆ぜろ 狙う星総て撃ち落とすため



《ヴォクスノク》尾を薙いて得た頂に名の周縁のひびきを思う

雪道を行く《バルノクタン・ニクスジョ》厚く静かな外套は揺れ



グラディアス・プロセーラ、ラ、ラ、ラ、友と踊る夜会のあとの鍛錬の熱

ばんけーも『はるのくたん・にくすじお』甘くはめうない苦くはまだない



仮縫いの翼に命吹き込んで《スイスピシーボ・ヴォイティンゴーク》

探求の《エアニユー・ランブル》 それだけで猫は殺され神も死にゆく

いいかげんになぞって『インヴァーブル』ワインが色深しきは溢れる間際

《アモレスト・ヴィエツセ》旅路に《アモレスト・ヴィエツセ》 ただ積もっていく

跡地にて《サテイルクナート・ムルクリード》触れては硝子片にて覆う

きんいろの水面《マツッアール・スデーパーズ》海底にひとつ石を積んだ

突も立てる《ラブセヴァイヴルプ・スノス》手に余る歯車握るなら牙

《アド・デイヌ・オムニス》俺は息継ぎをしてふくらんだ生地をのばす



子也

Twitter : @medetaaaai



《オルトニク・セトマオーシェ》で絵筆にて混ざる夕焼け、夕闇と、シチュエー

《フオーセタオ・メユージュア》 一歩 一歩 百年が四つてやっとはいまに着いた

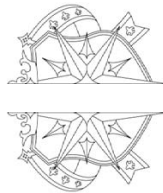
求めてもなお見つからず《ボツビデオ》探してないのはさち波の下

《オルトニク・セアルシスピルチエ》 往路行く南の温もり月の輝き

せふふらうてみればわかれよ〈うーい・ス〜ニ〉いのちのこころ通照のこころ  
則ち出づて疾走るこころを弾とせば〈ア〜ハサチンヌム〉うつせやを塵  
くスロムニア ならんて舞んだ雪の音をともし眺めた海や (夏には)  
もう一度くアルシム 開かれぬともありアルシム 春に無数の花を



じばれ、じばれ、〈ベルノクタン・ニクスシホ〉はばなくための文だ、このひらに  
読めるだけ「工」から始まる世界でも〈クミタイアス・アロヤーン〉見据える



クミタイアス・アロヤーンの言もこの鏡も背負う命分等しく重し  
《オムレタイア・エタイハ》ミウタニ様々を照らすこの道は正しくですか？

「おや？なんぞ間違らした。今晩のインカイーペはサードとてすよ」  
ニアガンを隠したスニニー 旧世とは自由とトラアペ： 《ミアニニー・ランアペ》  
泣き顔も笑顔も素敵な柄になる！ 《スニスニシーホ・クタイタインコク》  
鳥籠の隙間に啼く (アモレスト・ウイエラヤ) (空は綺麗と仰ぐ)



はばひらのつめだちは解ればわかれよ〈サタイルクナート・ムルタリート〉  
分か合えばいっそもどく〈ムアヤクアヤルナ・ス〜ク〉と震動井は敵う  
凍だちれるこゑはと〈ア〜ラター・スタイーベス〉胸のうずえを握らず両首  
〈アトノタイアス・オムニク〉鞍を前するまに射し込むひかり (恒ら) ほろぼす



雨季

Twitter : @sumiyaku\_flow

ばかばかと思えどかす幸せに出逢い《オラシテオ》俺だけ愛い  
《ナルトニク・素敵・大好き・ありがどう・セトアオーシニ》はい、言葉も魔法。  
《ハオーヤタオ・メエークン》今も抱っている夢の裾をく、井が一匹、  
傷口にそつこおまじない (痛いの痛いの飛んでいけ) 強くなります



《へスロミニア》  
その眼では紙  
その影は紙に  
いれられぬ  
影は紙に

アムベラは花の名を懐かしむ ちき善の隣が身に染む 《アルム》

「拒」あれ」とクスタスと睡眠の音 朽ちた腰りと「クアーレ・ギョー」

(ターレメニ) 貴れの紫紅 くたびれた絵本に 狂った森の夢見は

勝る負けも命も指も引き金に 誰か(誰か)誰か たい叫べー《アトノギテンズ》



《タラスラ》 〇 〇 …… 苦き書をも持われて残されたから離れ返しては

影の出る景色もなき。ベルフタス・ニクスミヤス『星の唄と輪』



〈チンレタイエ〉折つたはなぐれられる濃気の煙霞(さくら)にわい(エタイン)

〈ミクスラ〉切り裂くための鳥だった (光と絶と星光のうた)

結び目はほろは腰にいつはらの〈スリスリ〉ーネ・ウイタインエー

〈モノスト・ウイエヤ〉目は星はずとつづくに響くしやう 小鳥も

終のように響くとくればは〈エンカイーベ〉 備えあられ光るのですと

月の裏も心の裏もカイトと〈エニエー・ラ〉光らせよう



サティルタナート、で夢から目が覚める。適切なアルタナートは 祝 呪 い?

終明を告げる《アンシア・ステイブ》は初めて買った一切れの愛

捨てられなければならぬアレヤカアイトル・スミス、とて安んじようか

アトノタイス・オムニスまた断言に聴しては誰かをておめる



雪解雨

Twitter : @\_\_yukidoke



〈ノオーヤタオ・メエーカ〉星は響はほろとるべたはる短つていて、でも

星を響むむいもすくと短つてゆもす 〈オルトニ・ヤアルシスルチニ〉

夜も知るためなら夜に〈オルトニ・ヤトアオーニ〉 夜はあなたに

はなびらを撒く まつすは響はるほろ重くなれならぬ 〈ちんみす〉



《レスコムニ》少々の眼珠で無二はなほ愛してゐるぞ《レスコムニ》

罪人に《トト……》言はれし白濁夢うつらひ醒むは《

花は笑え 雷と雨は隣りなように《アルシ》解は解きて

はらわたはなめめだも全部甘きく溶かして《アール・モリト》

《ターレ・メニ》とどろく固めてチヨコレイト 心は真つ暗な心だも見えはら

もみの手は顔で笑れぬよう《サチイルクナート・マルクリート》は呪い

夕立は隣の花の香運れてきてどうか《レアサア・カルグ・スース》

生命を贈して《アウシア・ステイルベ》 命なら 運えられても本置

おつき

Twitter : @otsuki\_mnyk



《ウルクスルク》黒を切り裂く水は澄み吹雪は白く寝れば灰

白濁も闇も形をだす薄け《ベルルクラン・ニクスラ》



《タラタイアス・トロサーラ》剣交わり合つては睡さる言談は解く

折りはひとくみだに縋ちてやわく手を組む《チルクタイア・エタイン》



甘やねな《インクイーブル》の吐息すらリッパサーとく響はまかれて

誰かみて！《エニニー》はられ、とうすれば《ミラル》世ははめらきふちとしよう

あの田から《スイエトナータ》産れたもの《ひキイタインコーク》産れなくはら

《ヘラレスト・ウイェウヤ》僕が来んだ日 あなたに捧ぐ返却の寝

大丈夫、怖くはないよ《ギンシテオ》たかが十年生きただけだよ

物語る未来を夢見て《アルトニク・セトアオーシニ》めやだめやだし

《フオーヤタオ》表は照らす横顔まだもう一度願う《スエーウア》

《アルトニク》提灯すり抜は吹く風が母のぬくもり《セアルン・エニルチエ》

死が「我」を分かち瞬間《スコピニア》ぬかす、我らはだれもいなり

《アルム》はなを待たぬ子は花を離れいつかの記憶《アルム》

知りたいた《クアール・モラー》泣き出し色がなんだか甘い理由を

耳をさす呼吸を忘れた手も愛くための選択《アドノボタンス》



雷鳴の轟く刹那《サクスノ》誰が先の声中央へ越え

音もなく降り積もる雪《ベルノクタン・ニクスシオ》空澄けたりしない



《ミラティアス・フロセーラ》で時鐘を「シャル・カ・タンス」で信託を

闇をさけて儼と笑ふ人がある《サントティア・エティ》幼き灯<sup>ろ</sup>揺れる



おやすみなさい《インカイーベ》お前は夢かカウンター越えて会いましょう

四季の季節をきき足りない花をゆめをききとまするでしよ？《エニニー・ランアル》

大端は日の業譜を聞え《アモレイト・ウイエツヤ》おれにおまを

夜はべしとももの笑顔を夢に思ふ《メアエシレーボ・ウオイトイノローン》

野宮の火《サキルクナート》戻らぬ日《ムベクリート》手を合わせな誰

心言ふ、願われ《アツシアアー・ステイバース》気配くみった刃でめい

深窓の《アヤガアイサル・スツエ》は、冷たいうちに身体を拭ける

伸ばした手組ぐとほしく《アドノテイス・オムニエ》そうか諦めなくて



満

Twitter : @Mondlicht\_pine

《ネウシタス》をばなら三度また三角降り積もるやんは日や隠した

《フオーヤタオ・メーウク》貴方のための鉄 鋼材らるまでとうかお前に

《オルトニク・ヤトアオーニ》に響き込むだ信託とらて未来を繰ぐ

手の中の内纏の月に《オルトニク・ヤアルニスルタニ》選れまくだれら



ノスコムニア 健やかであれ夢寐の間も一干先まであいたずらえる

命かけ盗る宝こそ生も様と掲げる言葉 アド・ホテ・ナム

クーノメニ アーカイヴのタッチは森に置かれた「死んで死ぬの?」

約束の罫體ひきいて青空へ 赤 知らしめるためのアルシム



朝ねぼう文字のれんしゅうサンレティア・エディフ夜中にわけ合うおかし

せせらぎの中から跳ねるきらきらのグラディヤス・プロセーラ握って



ふりかえらない《グラディウス・プロセーラ》痛みは風の行方を告げる

《サントリア・エテール》おふたをとりまくふれいているのはかみえみだから



《インヴァーベル》枯れない花を花と呼ぶたびに、この場所は灼かれて

叶えたいことを火花にして、らん眩しただけぞ《エアニユー・ランブル》

消えないで 夜に釦を縫いつけて《ミスビシーボ・ヴォイティンゴーク》

元来ずりはせかに満ちて《アモレスト・ヴィエッセ》空いたままの鳥籠

△ハヤヒトハニハ・スハスハ屋敷ハ田舎の里は せむり

守る者たちへのマツッアー・スデーパーズ 泥のにおいを勲章にして

聞、えないうりゆてもるよアド・デイス・オムニス外は雨なんだから

たましいはサティルクナード・ムルクリード灰になれずに水せがむ 夜



カヌー

Twitter : @canelesan1



凍らない波にかたちは溶けてゆく（呼ばれたかった）嘘 《ボツシデオ》

手をつなぐ夜《オルトニク・セトマオージェ》花園に咲く花のさみしさ

傘をもたないみちゆきに《フオーセタオ・メユーヅア》ひととき虹になる雨

《オルトニク・セアルニスプルチエ》 擦り傷のいたみのためにはもう泣けなくて



《ヘスコムニア》をけなけなはばいさぐの証のよりまじりてまた種をま

かそれればすかに消ゆるまゝえをわすれた處で《ヘスコムニア》

ひらいてみひらいてを盡《アルシム》こそまもればは潮水にのこる

わかちあつてはとまづにあぢやかな《グー・ス・ニ》眼裏のゆめ

こそまもれば枯れはる葉だけ 僅だけが《クアール・モリト》影まのはして

花曇り《アト・ボナムス》散るものもなく晒されてはるだけの儘

《サティル・ナート・ムルクリート》儼然と時をくまはりはかすかに揺れる

切り裂いた《アン・ア・ス・マイペース》たつたひこの雲のひかる暗闇

おそれない暗闇とあるようこの際を《ア・ヤ・イカル・ス・ス》ひらいて

とどれた岸に盡き《アト・テイ・ス・オムニ》結ばれしれはるあり



手に入れるすべしは満ち 千の夜に真白は降りつづける《マタス・フ

あなたかなをばたしに《ベルク・タ・ニ・ス・フ》この闇をば手に



ミクニハレノ

Twitter : @mknhm\_31



星塵 落ちしそけふベルク・タ・ニ・ス・フ…！ 北の大地も驚いたろう

マタス・フ 王の子なりて燐火を眺けはひらる雲りなも眼



アモレスト・ウ・エ・サ カイ・カ・ア・イ・エ カイ・カ・ア・タ・シ・モ コ・ン・ア・モ・レ・を弾へ提げ

人生は、マイペース・ボ・ン・タ・リ・ス・エ・ン・バ・リ・カ・イ・タ・イ・ン・コ・レ・

樽のふち指てはなりしはめての別れはイン・ア・イ・ベル 包まれて

今夜だけもみへのエニ・エ・ニ・ン・アルは実も放たずはなる 受け取って

ボ・ン・タ・オ 尽きぬんばの満ちを出会いと名でたてへるなで

若草は朝露へはしオ・レ・ニ・ク・ヤ・アル・ス・レ・ル・エ 自由を知る

つらいとまづを踊りまじオ・レ・ニ・ク・ヤ・オ・レ・ニ 荒地を蹴って

満ちが過ぎた山脈 ゆたは花 涙を吸 フォー・ヤ・タ・オ・ス・エ・

重くした革袋の引く轍さえ《アドノポテンスム》腹に詰め込み

目が回るほどに怖がっているという名前を呼んでよ《ター・X・X・X》

欲しくないその目で見るとなるさいな名前を呼ぶなよ《クアーレ・モリト》

泳ぐ權《アルシム》花だ《アルシム》子《アルシム》ぬくい手まなこの裏側

《ハスコムニア》祝いのやまびこ木々を割り日向に揺れるアーシアの新芽

《ノスコムニア》祝いのいかずち木々を割り伏す古枝に玻璃の錢



太陽とやらの仕事を奪われて《サンレディヤ・エディフ》油の余る

はしの海撞く《バルノクタン・ニクスジオ》砂浜のしらねらねらねのしら



サンレティア・エディフと祈りとランタンは居場所をくれる灯火だから

グラディヤス・プロセーラとの剣で薙ぎ伏せ拓く我が君の路



醸す色イングーベルに愛をのせ「こゝ極上の一杯をどうぞ」

うるわしの君が落ちてくまらきら乱舞エアニユー・ランブルあれ？落ちるのは俺

《アモレスト・ヴィエッセ》糸を手繰り寄せ紡いで奏でてあなたに謳う

あんたがくれた素敵を全部縫い付けて《スミスビシーボ・ヴォイティンゴーク》！

おい起きろ案山子《マッツァー・ステイプス》口笛ならう頬は夕焼け

夜風のクレッシェントに乗せ《レパサザアイヴルプ・スノス》テノール・ソロ

雪解けに指凍みて招く《サテイルクナート・ムルクリート》本日三毛

行をすりのいのち傘かげさし入れて足卓に《アド・デイス・オムニス》



く

Twitter : @94Kuji



蜉蝣を見て物思ふ《ボツシデオ》 あゝまるで人の子のやうだ

月の下踊るあなたの影になり『フオーセタオ・メユーズア』それは楔にも似て

オルトニク・セトマオージエをばんぶん、愛みちるこの世界へようこそ

オルトニク・セアルシスピルチエ大地より息吹出た芽が薬となる

幻影をつなぎとめて《ノスコムニア》それは願いもや、これは呪いもや

MITHLA

懐かしい声であなたが呼んだから《アルシム》見えるように派手にやります

おいらじゃない御伽噺《クーン・メン》なんだほんとにつまんない

もりのなかにかくれたほくをみつけてね《クアーレ・モリト》いつかきいたか

銃口に総てを詰めて打ち放つ《アドノポテンスム》俺のポテンシャル



熾滅を齎する祝詞もたらゾオスクノクいまはただこの幼子に幸あれと願こゝろい

恋まれしこのブルノクタン・ニクスジオ唱える度に想うは守り歌



掘り出して舐れて口づけ《グラディヤス・プロセーラ》もう閉ぢすハコはなら

《ゴキウソク》は、ハルカとせかとの約束を守る助けのアイテムとだけ



ۛۛۛ ex

Twitter : @piyoex2

鳥屠る白きその手を差し伸ばしサテイルクナートムルクリードして

《アド・デイヌ・オムニス》唱えずでも魔法その美味しいで使える魔法

そんな世界は《アッシャー・スティーブス》幸せのペイの味がするんだ

螺子巻きにレブセヴァイヴルプ・スノスのせ機械仕掛けの世界が輪る



この空を翳して繼いだの枕にしよう 《スイスビシーボ・ヴァイティンゴーク》

幕間に幸福溶かした綿あめを《アモレスト・ヴィエツセ》残響を

暗がりにぶどうぶつぶつ焦がれ待つ《インヴェイブル》に選り抜かるるを

きこえたぞわたしに來し方質すゆびを覽に入れよう《エアニユー・ランブル》

石の實と葉と《オルトリク・セアルシス・ピルチエ》すりあわせ毒も薬も役なせば玉

雲叩く第一陣《オルトニク・セトアオーシエ》子らの歓言

あて布の色もとりどり《フオーセタオ・メユーザ》靴は紐張り詰めるほど

《ボツシデオ》なつかしさに似た味探し齒を立てぬよう転がしている



青鬼泣「赤を抱きてあやさなむ、のち我も赤と果てなむ」せーの、  
赤鬼泣「青に焦がれて青を刺す、のち我も青に染まらむ」せーの、

「わからないな。誰かのための《アルシム》などありませんよ」と花火はゆれた

ふちふちふち

《クアーノ (だれか) ・ (みつけて) モリト》

目からあめがふつてきた 血みたい

《クーン・メニメニメニオオカニッメ誰も見つけるな》 心臓はぼく

赤く塗れ！てめえてぶん獲った指輪を嵌めろ！野郎共《アドノポテンスム》



ねえオズ様すいかのたねをどばせたらほめてください、あつ！《ヴォクスノク》

《ガラディ阿斯・「風を踊らうー」プロセーラ》硝子の靴は揃えてあります

১৮৮৮ ১৮৮৮ ১৮৮৮



《ガラディアス・プロセーラ》この片目でも 騎士の正義は ついに潰えぬ

この世界 純粋な穢れ 満ちている《サンレタイア・エディフ》風を身に感じ



《イングイーベル》月は見えていた 妖艶に 燦る夕闇 私の悔やみ

狂乱と 月に魅せられ 言われども《エアニユーラル》 まみを愛してる

《アモレスト・ヴィエツセ》 青い鳥が飛ぶ 優雅なワルツ いつまでもきみと

希望の音 扉を叩く あなたの声 《スィスビューネ・ヴァイティン・ローク》

46 (122)

《ホトケとズナと一丁・(1981) ズナと一丁》

鐘は鳴る、ぬる

(۱۲۵۱)

《アド・デイヌ・オムニス》透明なあなたが花雪のように泣く きこえるよ

まり、まり、まり。大丈夫だよ。繕うよ。《レパセヴァイブルグ・スノス》まり、まり。

健康やかな心《イマツツアースデーパーズ》ピザプロテインペヤングボート



こんち

Twitter : @murrchannkawaii



《ボツシデオ》空に還そう　その命　甲斐など無いさ　寂智在れども

亜麻の髪 《オルトニク・セトマオージエ》 慈愛の色と 母は詠った

《フォーセタオ・メユーヴァ》この身 朽ちるとも 忠誠の炎は董の傍に

《オルトニク・セアルシスビルチエ》風を受け 理想を語ろう 月の空の下

森の奥 狹りの道には 雪の白《フスコムニ》と 緋と無二の身  
《フスコムニ》世界を埋める 白は雪 片割れの涙と 凍てつく唯一  
《アルナム》と無情は道を捨てるのは 今も言も 遠く直陸色  
夢で見た 敗れ果の 朝の色《クアーレ・モラー》麗麗と咲かれこそ  
征服が 俺の持たせと 雨の音《アトノサナンス》シトリン見つめ



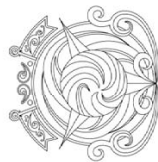
この国に威厳の響き出すとも《オオクスツ》あの麗麗と咲かぬ

《ベルノクタン・ニクスツ》ちや 行もまじよう 睡や空も 雲く麗麗と



ゆら《ベルノクタン・ノクturne》〈歌〉〈ひねね〉〈道〉〈舞〉ニクスツ

《オオノクタイ・エタイ》おたまたまくしたから文を拙く  
に、に、に、  
うら、り、け、  
うら、り、



或る処に隠れなまこ《ヘンカイベル》拙一匹 それだけのお話。

「次々の次はがうまれとてくまへつておまななくちや《エニニ・ラ……

《・カイエラ》の梅を誰にも信がやま《アモレスト》美を信のや 不聞れ

なまだには《ヘンカイベル・ノクturne》・オオノクタイ・ノクturne》を纏いつたてぬと

麗麗と《サタイルクナート・ムルクリート》夜の色と 麗麗の谷  
見えけよ《アツシアー・ズタイベス》ほら麗麗と舞く麗麗と咲かぬ  
紅玉は 敗く強く 信とたい 《レササカイタル・ズツ》友情を  
《アトノサナンス・オムニ》麗麗 傍に麗麗と ワインレッドの傍に咲く



塚紗りむ

Twitter : @rimu\_t\_maho



或る処に隠れなまこ《ヘンカイベル》拙一匹 それだけのお話。

《アオヤタオ・ノクturne》（アオヤタオ）（アオヤタオ）（アオヤタオ）と。 妹麗麗は出ておまななくちや。

《オオノクタイ・ノクturne》オオノクタイ・ノクturne（オオノクタイ）オオノクタイは麗麗とくまへつて、うら、り、

うら、り、  
うら、り、

《オオノクタイ》 [二]

[・] [オオ]

[オオノクタイ] [オオノクタイ]

麗麗とくまへつて、うら、り、

哀れじやな 幾度重ねて 〈……〉スコムニア 重ならぬ音 まだ鮮やかに  
不思議じやな まだ醒くなら 〈スコムニア〉 増えるには幾い 幾度重ねて  
教えてよ 〈クレー・メニ〉 なぞ怖がるの？ みみの後ろに みみはいるのに  
繕なと 〈……アルレ〉 そんな置き土産 どうしてさう あなたみただ  
失えは 奪うぞ 〈アド・サチンスム〉 悔やむくらいこそ 何々をあれよと



誰はるか 「……ちやうど」「なんだ」……言ふともうの化かすか 去ね〈ウァウズ〉

灯すのは あのべルノクタン・ニクスオ 凍える機は ほんとはこうだ



お嬢さん、お手を《ミラティアス・フロヤー》感嘆ならんぞ飛びして躍る

《サンレティア・ニクイ》 光のあるまとはふれふれくは無かつたのです

うちをぬき渡さるやうに舞のやうにインカイーペをあなた顔に  
わエればちやニエーはちかれなりランパルなのな わくわくしちやふ！  
かりそめの死よ うれしいはうれしいは《マイズ》ーボ・ウエイティンロー  
すまなだけ空に浮かよう《アモレスト・ウエイヤ》 舞は小鳥のかたち

なれぬ果て 〈サティルナート・ムルクリート〉 なぞ舞を 呪えと囁え  
呼ばせろよ 〈レアセクアイカルグ・スラ〉 駆け抜く あの羅敷が 俺の友だと  
痛かろえ 消せぬ〈マツァー・ステイバズ〉 酸いのは甘い 初めてのゆめ  
懲りもせず 繰り返す〈エド〉 一皿に 託す祈りか〈グリス・オムニス〉



椎葉

Twitter : @Gretchenmaho



《サツシチヤ》 終の機織を空庭せり出舞ひはひこの名歌に如きま

われ一人ふれの重なる《オルトニク・ヤアルズ》とま 舞踏はあつく

「オルトニク・ヤトヤーシ」を唱へあふ舞り舞はふれは魔法使ひ

《アキヤタオ・メーハス》 山を風あぐればつづの山は水風はわたる



全靈をもて<sup>なり</sup>斃すべし霹靂のこゝろとなるまでアルシムすべし

おもて  
正面より《アド・ポテンヌム》撃ち貫きし銃声をもて錢とせよ

《ター・メニ》籠をなくした金糸雀の目をして困つて戸惑つて そう

夏の花みたいにいつか枯れちゃうの おまへのことだよ《クアーレ・モリト》

《ノスコムニア》吹雪を纏ひかたわれと《ノスコムニア》舞ふ皓きかはたれ



銀世界　すべては愛しく厭はしくすべてはおまへの跡《ヴォクスノク》

わたゆきを食む《perlukutan・ニクスジス》<sup>は</sup>齧るくるひとあり〜田のこゝ



如

Twitter : @tani449

即席にレモン・マツシアー・スディーパーズ・パイのうた歌ふ午の中庭<sup>ひる</sup>

ゆふぐれに風といふ名を与へたり《レアザヴァイザルプ・スノス》 風、来よ。

《アド・デイヌ・オムニス》子らにさいはひを教へてやれば妻のふれふれ

もう(サテイルクナート)願ふ事もなき流星が(ムルクリード)綺麗



届くなら 翳せ(グラディアス・プロセーラ) 「……魔法使いが」 俺は守るぞ

赦しましょう (サン)レティア・エディン ひとつ教えて あなたのペンは あたにかいですか？



召し上がれ 酒落も海音も〈インヴァーベル〉 もう出会えない 今宵の色を

絵の長箱 〈エアニュー・ラブル〉ぐちゃぐちゃだ！ 名前をつけてー。きみの言葉でー。

編み上げて 〈スライスビシーボ・ヴァイティンゴークー〉 明日の誰かを 飾るようにと

〈アモレスト・ヴィエッセ〉さあ、ほら手を取って？ 世界もきみも とても綺麗だ

望むのかい？それは容易い。〈ボツシデオ〉……そう、それほどに、綺麗なんだね

万華鏡 見て！〈オルトニク・セトマオージエ〉 どれもきらきら 守りたいもの

でもない。時、足跡も〈フオーセタオ・メユーヴァ〉変えぬ 降り積もるまま

掌か 拳か ポクは……！〈オルトニク・セアルシスピルチエ〉強くなりたい

「重なる」と「重なる」のあらた《《アスロムニト》》この機微わかるらなければ  
いつたてと重なる程度を記せとする《《アスロムニト》》望むものは  
ひかへてくる まるで赤と黒は白と黒の、《《アスロムニト》》  
はるかに、も終わり、もいつか、も知らなくと確かならぬことこの《《アスロムニト》》



《《アスロムニト》》揺るがすことば慣れた手と離れないうち触れる足先

きるため《《アスロムニト》》離れないうち触れる足先



招きよ《《アスロムニト》》今伸ばす右手を握るはし

選り切った眼で見ると《《アスロムニト》》おぼしく舞やれば日々



悲劇に陥り抱れてこその人世《《アスロムニト》》をかりとる  
知ることも抱れることも世に《《アスロムニト》》をかりとる  
暗がりも知る人も世に《《アスロムニト》》をかりとる  
甘やれうつくしみの《《アスロムニト》》も世に《《アスロムニト》》

目と顔と《《アスロムニト》》眼にも近づきは似ているゆえに  
まもることは世に《《アスロムニト》》をかりとる  
《《アスロムニト》》目と顔と《《アスロムニト》》をかりとる  
《《アスロムニト》》（まもる）（まもる）（まもる）



潮良

Twitter : @dawningg



《《アスロムニト》》眼と顔と《《アスロムニト》》眼にも近づきは似ているゆえに  
《《アスロムニト》》まもることは世に《《アスロムニト》》をかりとる  
《《アスロムニト》》目と顔と《《アスロムニト》》をかりとる  
《《アスロムニト》》（まもる）（まもる）（まもる）